

赤広通り

末広がり、商売が繁盛しますように、という願いからこの名が付いたらしいんですよ、というのは末広通り商店街振興組合会長・額賀信一さん。

昭和20年代後半、当時まだ通りにはたばこ屋さん、お米屋さん、約10軒の商店が並ぶだけだったそうですが、その願い通り、今では70軒近い店が連なっています。

旧城東区は、川に囲まれ、水運に恵まれていたことや、もともと江戸の近郊農村という面影も残していたため、工業用地として最適な場所でした。

この通りも工場でたくさんの方々が働いていた頃は、一日中人のにぎわいが絶えなかったとかなるほど通りを歩いていると、商店街にもかかわらず、鉄工場が目につきますが、これでも全盛期から比べると3分の1以下に減ったそうです。

所々人影なき鉄工場跡、赤茶けた鉄塔に、晩秋の日射しが射し込んでいきます。

今では工場跡地に大きなマンションも建ち、自転車に幼い子供を乗せたお母さんたちの姿が目立つようになりました。

通りの北側にはお寺が2か所並んでいます。そのひとつ、因速寺というお寺の境内で「よびごえ」という機関紙を見つけました。これはお寺自ら年4回発行しているもの。広く人々に仏教を受け入れ



てもらいたいという住職の思いから始められました。

またこのお寺には、芝居や講談で有名な「め組の喧嘩」の力士、四つ車大八、砂村に野菜促成栽培を普及させた松本久四郎のお墓があります。

松本久四郎は、「江戸ゴミ」(魚河岸で出される魚のアラなどのこと)で、よく発酵し、肥やしとなる)を肥料にした温床に油紙で覆いをし、また炭を使って囲い栽培をして季節に先立って野菜を作り、この砂村一帯を促成野菜の産地として発展させたのです。



かつて清洲橋通りには都電が走り、商店街の入り口、旧葛西橋付近は都電の終点としてにぎわっていました。

時代は移り、環境に優しい路面電車はまだ注目され始めています。もう一度、路面電車を走らせてほしい、会長さんたちはそんな夢を描いています。



▲因速寺

MAP

鬼子母神道道標があるよ!

野菜促成栽培を普及させた松本久四郎の墓がある

東広通り

大きな藤棚が入口を飾ります

商店街主催のスタンプ旅行は、30年以上もつづいている! 今年もぜひ!

アーク目印

清洲橋通り

上妙寺

因速寺

四つ車大八の墓

マンション

東石川スポーツセンター 平成8年10月にオープン

かつて都電の終点があり、大変にぎわったぞうだ!

←清洲橋